

■教育職員免許状取得に関する科目の単位履修について

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭及び養護教諭・栄養教諭を目指すには、教育職員免許状の取得が必要である。

教育職員免許状を取得する場合は、社会において教育がいかに重要であることを深く認識し、絶えず自らの資質能力の向上に努めるよう、強い意思と決意をもって臨むことが大切である。

履修に当たっては、教員としての基礎的・基本的資質能力を養い、教育者としての使命感、人間的成長・発達に関する深い理解、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情及び教科等に関する専門的知識、豊かな教養、実践的指導力などを培わねばならない。

更に、「教育の基礎的理解に関する科目等」や「教科及び教科の指導法に関する科目」を積極的に選択履修し、自らの得意分野をつくり、個性の伸長を図ることも肝要である。

また、刻々と変化する現代社会をたくましく生き抜き、常に広い視野と深い洞察力をもって行動できる人間であることも教員として求められている。

以上のような教員としての資質能力を養い、絶えずその向上に努めることを望む。

教育職員免許状の取得を希望する者は、次の要件を満たしていること。

- ① 教員になることを強く志望する者。
- ② 全学共通科目のうち、教育職員免許状を取得するための必修科目（日本国憲法／体育／外国語コミュニケーション／数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作）を原則としてすべて修得していること。
- ③ 3年次後期まで（看護学部においては2年次後期まで）に開講する「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科及び教科の指導法に関する科目」の『各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）』を原則としてすべて修得していること。
 - ・幼稚園教諭は「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の『保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）』を原則としてすべて修得していること。
 - ・養護教諭は「養護に関する科目」を原則としてすべて修得していること。
 - ・栄養教諭は「栄養に係る教育に関する科目」を原則としてすべて修得していること。

＊教育実習については、各学科の特徴に応じてそれぞれ制限規定を設ける。詳細については、学科頁を参照すること。

本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	教科
文 学 部	日 本 文 学 科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	国語 書道
	書 道 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	国語 書道
	国 際 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	英語
経 営 情 報 学 部	経 営 情 報 学 科	高等学校教諭一種免許状	情報 商業
	メ デ ィ ア 情 報 学 科	高等学校教諭一種免許状	情報 商業
生 活 科 学 部	健 康 栄 養 学 科	栄養教諭一種免許状	
	児 童 学 科	幼稚園教諭一種免許状	
		小学校教諭一種免許状	
看 護 学 部	看 護 学 科	高等学校教諭一種免許状	看護
		養護教諭一種免許状	

■教育職員免許状を取得するためには

基礎資格として、学士の学位を有すること。かつ、下記の科目①～⑦を修得していること。

- ①「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」（下記※1参照）
- ②「教育の基礎的理解に関する科目等」
- ③「教科及び教科の指導法に関する科目」
- ④「領域及び保育内容の指導法に関する科目」（幼稚園教諭）
- ⑤「養護に関する科目」（養護教諭）
- ⑥「栄養に係る教育に関する科目」（栄養教諭）
- ⑦「大学が独自に設定する科目」

●小学校教諭免許状及び中学校教諭免許状取得希望の場合（下記※2参照）

「介護等体験」（7日間）

「介護等体験事前事後指導」（2単位）を修得すること。

●栄養教諭一種免許状取得希望の場合

「管理栄養士免許を有する者」又は「管理栄養士養成施設の課程を修了（国家試験受験資格に必要な科目をすべて修得している）し、栄養士免許を有している者」であること。

※1 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法で定められた科目の他に下記科目の単位を修得しなければならない。

規則に定める科目	最低修得 単位数	本学開講科目	単位	備 考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門	2	経営情報学部メディア情報学科は学科専門科目として開講
		情報リテラシー	2	
		パソコン基礎演習	2	

※2 介護等体験

「介護等体験特例法」により小・中学校教諭の普通免許状を取得するためには、「特別支援学校」及び「社会福祉施設その他の施設」において7日間の介護等の体験に参加することが義務付けられている（体験先より発行された証明書の提出が教育職員免許状申請の必須条件である）。

介護等体験を希望する学生は参加のための条件として、介護等体験実施の前年度に開講される集中講義「介護等体験事前事後指導」（2単位）を受講し、介護等体験終了後に事後指導を受けなければならない。

■教育職員免許状交付申請

教育職員免許法に定められた諸条件及び本学の履修条件を充足し、各該当の教育職員免許状の授与資格を得た者は、所定の手続きにより徳島県教育委員会へ申請し、免許状が授与される。

本学では、大学で申請書類をとりまとめて徳島県教育委員会に申請する「一括申請」の方法をとっている。一括申請手続き説明会の期日や詳細は、その時期にポータルにて連絡する。

ただし、一括申請手続き説明会を欠席した場合や免許状申請に必要な条件が充足されなかった場合には、一括申請をすることができない。一括申請を行わなかった者については、卒業後に教育委員会に各自で申請すること。

徳島県教育委員会へ大学から一括申請（卒業学年の1月）

説 明 会：卒業学年の11月下旬～12月初旬

申請の条件：4年以上の在学 卒業単位及び免許科目の単位修得見込

免許の受領：卒業式当日 授与権者：徳島県教育委員会

授与年月日：卒業日（3月16日）

■「教職実践演習」と「履修カルテ」の作成について

教職実践演習について

「教職実践演習」とは、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめとして位置付けられた科目である。この科目は、4年次後期に開講される演習科目で、これまで以上に教員としての資質が問われる内容となっている。

また、「教職実践演習」を履修するには、「履修カルテ」の作成及び提出が必須条件となっている。

履修カルテの作成について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、入学してから教職実践演習の授業を受ける4年前期までの間に、各自で「履修カルテ」を作成しなければならない。

「履修カルテ」とは、自分が教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを自ら考えるための手がかりにしてもらうためのものである。

教職実践演習の授業開始までに履修カルテが整っていない場合は、授業を履修することができないので、注意すること。

履修カルテの種類について

履修カルテは、2種類ある。

●履修カルテ①（教育職員免許状取得に必要な科目の履修状況）

「履修カルテ①」は、教育職員免許状取得に必要な科目の履修を始めてから単位を修得した全ての科目について、各学年の学期毎に記入するものである。教職に関する学外実習・ボランティア経験等の実施状況欄には、「教育ボランティア」「介護等体験」「教育実習」などで経験した活動について、実施状況、学んだこと、今後の課題について記入すること。

複数の種類・教科の免許状を取得する場合は、学校種ごと、あるいは教科ごとにカルテを作成すること。

（注1） 幼稚園と小学校の免許状を取得する場合は、幼稚園と小学校のそれぞれの「履修カルテ①」を作成すること。

（注2） 中学校（国語）と高校（国語）の免許状を取得する場合は、中・高同一の「履修カルテ①」を作成すること。

●履修カルテ②（自己評価シート）

「履修カルテ②」は、教員として必要な資質・能力について、授業・教育実習・介護等体験等の課外活動を通して身に付いているか振り返りながら自己評価を行うものである。

各年度の学年末に、それぞれの項目毎に5段階で自己評価を行う。教職を目指す上での課題を明確に記入すること。

■教職課程修了に必要な要件

(教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則による)

学部・学科等		免許状の種類	免許教科	基礎資格	教科及び教職に関する科目 (単位数)			左欄の 合計 (単位数)	免許法 施行規則第66 条の6に定め る科目	介護等体験 要・不要
					教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目			
文 学 部	日 本 文 学 科	中学校教諭 一種免許状	国語	本学の卒業要件 を満たすこと	28	27	4	59	「日本国憲法」2単位、「体育」2単位、「外国語コミュニケーション」2単位、 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」2単位	○
		高等学校教諭 一種免許状	国語		24	23	12	59		
		高等学校教諭 一種免許状	書道		24	23	12	59		
	書道文化学科	中学校教諭 一種免許状	国語	本学の卒業要件 を満たすこと	28	27	4	59		○
		高等学校教諭 一種免許状	国語		24	23	12	59		
		高等学校教諭 一種免許状	書道		24	23	12	59		
	国際文化学科	中学校教諭 一種免許状	英語	本学の卒業要件 を満たすこと	28	27	4	59		○
		高等学校教諭 一種免許状	英語		24	23	12	59		
経 営 情 報 学 部	経営情報学科	高等学校教諭 一種免許状	情報	本学の卒業要件 を満たすこと	24	23	12	59		
		高等学校教諭 一種免許状	商業		24	23	12	59		
	メディア情報学科	高等学校教諭 一種免許状	情報	本学の卒業要件 を満たすこと	24	23	12	59		
		高等学校教諭 一種免許状	商業		24	23	12	59		
生 活 科 学 部	健康栄養学科	栄養教諭 一種免許状		本学の卒業要件 を満たし、かつ 管理栄養士養成 施設の課程を修 了し、栄養士免 許を受けている こと	4	18		22		
	児 童 学 科	幼稚園教諭 一種免許状		本学の卒業要件 を満たすこと	16	21	14	51		
		小学校教諭 一種免許状			30	27	2	59		○
看 護 学 部	看 護 学 科	高等学校教諭 一種免許状	看護	本学の卒業要件 を満たすこと	24	23	12	59		
		養護教諭 一種免許状			28	21	7	56		

*各科目の履修方法は、各学科頁を参照すること。

教職免許

日本文学科

中学校教諭一種免許状（国語）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単 位 数	開講期	備 考
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3年前期	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育	2	3年前期	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	2	4年前期	
			教育実習Ⅱ	2	4年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4年後期	
				計	31	

教職免許

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目			
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
				必 修	選 択	
(イ) 教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	国語学（音声言語及び文章表現 に関するものを含む。）	基礎日本語学Ⅰ（国語表現法を含む） 基礎日本語学Ⅱ（音声言語を含む） 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2	
		国文学（国文学史を含む。）	日本文学概説 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 古典文学演習Ⅰ 古典文学演習Ⅱ 近代文学演習 近代文学講読（児童文学を含む）	2 2 2 2 2	2 2 2 2	
		漢文学	中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2	2 2	
		書道（書写を中心とする。）	楷書法 行書法 書写教育概論	1 2	1	
	教科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目					
	各教科の指導法（情報通信技術 の活用を含む。）		国語科指導法（基礎） 国語科指導法Ⅰ 国語科指導法Ⅱ 国語科指導法Ⅲ 国語科指導法Ⅳ	2 2 2 2 2		
	計			29	17	

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対応科目			開講期
	授 業 科 目	単 位 数		
		必修	選択	
(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期

(エ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講 ※選択科目は いずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8以上		

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ)	合 計 70単位以上
-----------------------	------------

日本文学科

高等学校教諭一種免許状（国語）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目				
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考	
				必 修	選 択		
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	基礎日本語学Ⅰ（国語表現法を含む） 基礎日本語学Ⅱ（音声言語を含む） 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2		
		国文学（国文学史を含む。）	日本文学概説 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 古典文学演習Ⅰ 古典文学演習Ⅱ 近代文学演習 近代文学講読（児童文学を含む）	2 2 2 2 2	2 2 2 2		
		漢文学	中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2	2 2		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		国語科指導法（基礎） 国語科指導法Ⅰ 国語科指導法Ⅱ	2 2 2			
			計	22	16		
				32以上			

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	※選択科目はいずれかを選択必修
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ) 合 計 67単位以上

教職免許

日本文学科

高等学校教諭一種免許状（書道）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	書道（書写を含む。）	楷書法 行書法 書写教育概論	1 1 2		
	書道史	中国書道史 日本書道史	2 2		書道文化学科 開設科目
	「書論、鑑賞」	鑑賞（書論を含む） 日中比較文化演習 日本美術史	2	2 2	書道文化学科 開設科目
	「国文学、漢文学」	日本文学概説 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 古典文学演習Ⅰ 古典文学演習Ⅱ 近代文学演習 近代文学講読（児童文学を含む） 中国文学講読	2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	書道科指導法Ⅰ 書道科指導法Ⅱ	2 2		高一種（国語）を取得しない場合は、書道文化学科の「書道科指導法（基礎）」を必ず履修すること。
		計	26	12	
			32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める 科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目 にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は いずれかを 選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計	67単位以上
-----------------	-----	--------

書道文化学科

中学校教諭一種免許状（国語）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	道徳、総合的な学習の時間等の生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育	2	3 年前期	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	31		

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目					
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考		
				必 修	選 択			
(イ) 教科 及 び 教科 の 指 導 法 に 関 する 科目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	国語学（音声言語及び文章表現 に関するものを含む。）	基礎日本語学Ⅰ（国語表現法を含む） 基礎日本語学Ⅱ（音声言語を含む） 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2			
		国文学（国文学史を含む。）	日本文学概説 古文講読 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 日本古典文学演習Ⅰ 日本古典文学演習Ⅱ 近代文学演習	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2			
			漢文学	漢文基礎 中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2		2 2 2	
				書道（書写を中心とする。）	漢字書法Ⅰ（楷書） 漢字書法Ⅰ（行書） 書写教育概論		1 1 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目 における複数の事項を合わせた 内容に係る科目							
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）				国語科指導法Ⅰ 国語科指導法Ⅱ 国語科指導法Ⅲ 国語科指導法Ⅳ		2 2 2 2	高一種（書道）を取 得しない場合は、日 本文学科の「国語科 指 導 法（基 礎）」を 必ず履修すること。
	計			26	20			
				28以上				

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対応科目			開講期
	授 業 科 目	単 位 数		
		必修	選択	
(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期

(エ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目はいずれかを選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ)	合 計 69単位以上
-----------------------	------------

書道文化学科

高等学校教諭一種免許状（国語）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

教職免許

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目			
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
				必 修	選 択	
(イ)	教科に 関する 専門的 事項 教科及び教科の指導法に関する科目	国語学（音声言語及び文章表現 に関するものを含む。）	基礎日本語学Ⅰ（国語表現法を含む）	2	2 2 2	
			基礎日本語学Ⅱ（音声言語を含む）	2		
			日本語文法論			
			日本語史			
		国文学（国文学史を含む。）	日本文学概説	2	2 2 2 2 2 2 2	
			古文講読	2		
古典文学史			2			
近現代文学史			2			
基礎講読古典文学						
基礎講読近現代文学						
日本古典文学演習Ⅰ						
日本古典文学演習Ⅱ						
近代文学演習						
漢文学	漢文基礎	2	2 2 2			
	中国文学講読					
	中国文学研究					
	中国文学演習					
教科及び教科の指導法に関する科目 における複数の事項を合わせた 内容に係る科目						
各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）			国語科指導法Ⅰ 国語科指導法Ⅱ	2 2		高一種（書道）を取得し ない場合は、日本文学科 の「国語科指導法(基礎)」 を必ず履修すること。
			計	18	20	
				32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目 にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は いずれかを 選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計 67単位以上
-----------------	------------

書道文化学科

高等学校教諭一種免許状（書道）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目			
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
				必 修	選 択	
(イ) 教科 及 び 教科 の 指 導 法 に 関 する 科目	教科 に 関 する 専門 的 事項	書道（書写を含む。）	漢字書法Ⅰ（楷書）	1	1 2	
			漢字書法Ⅰ（行書）	1		
			漢字書法Ⅰ（草書）	1		
			漢字書法Ⅰ（篆書）	1		
			漢字書法Ⅰ（隸書）	1		
			仮名書法Ⅰ	1		
			漢字仮名交じり書法Ⅰ	1		
			創作書法Ⅰ（漢字）	1		
創作書法Ⅰ（仮名）	1					
篆刻法Ⅰ	1					
実用書法	1 2					
漢字書法Ⅲ（五書体）						
書写教育概論	2					
	書道史	日本書道史 中国書道史	2 2			
	「書論、鑑賞」	鑑賞（書論を含む）	2			
	「国文学、漢文学」	日本文学概説	2	2 2 2		
		古文講読	2			
		古典文学史	2			
		近現代文学史	2			
		漢文基礎	2			
		中国文学講読	2 2 2			
		中学文学研究				
		中国文学演習				
	教科及び教科の指導法に関する科目 における複数の事項を合わせた 内容に係る科目					
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	書道科指導法（基礎）	2			
		書道科指導法Ⅰ	2			
		書道科指導法Ⅱ	2			
			計	34	9	

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	※選択科目は いずれかを 選択必修
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6 8以上	4	

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計 69単位以上
-----------------	------------

国際文化学科

中学校教諭一種免許状（英語）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	道徳、総合的な学習の時間等の生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育	2	3 年前期	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
				計	31	

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英文法Ⅰ 英文法Ⅱ 英語音声学 英語学入門	2 2 2	2	
	英語文学	英米文学入門 世界文学鑑賞 英米文学と文化の流れ	2	2 2	
	英語コミュニケーション	ListeningⅠ ListeningⅡ Speaking ReadingⅠ ReadingⅡ WritingⅠ WritingⅡ Discussion&Debate Communication Skills	2 2 2 2	2 2 2 2	
	異文化理解	国際文化入門 アジア文化論 アメリカ文化論 イギリス文化論 グローバル社会におけるメディア 国際ボランティア・国際平和論	2 2 2 2	2 2 2 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語教育Ⅰ（英語科指導法） 英語教育Ⅱ（英語科指導法） 英語教育Ⅲ（英語科指導法） 英語教育Ⅳ（英語科指導法）	2 2 2 2		
		計	28	24	

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対応科目			開講期
	授 業 科 目	単 位 数		
		必修	選択	
(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期

(エ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講 ※選択科目はいずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門 情報リテラシー		2 2	
計	8	計	6	4	
			8以上		

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ)	合 計 69単位以上
-----------------------	------------

国際文化学科

高等学校教諭一種免許状（英語）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

教職免許

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英文法Ⅰ 英文法Ⅱ 英語音声学 英語学入門	2 2 2	2	
	英語文学	英米文学入門 世界文学鑑賞 英米文学と文化の流れ	2	2 2	
	英語コミュニケーション	ListeningⅠ ListeningⅡ Speaking ReadingⅠ ReadingⅡ WritingⅠ WritingⅡ Discussion & Debate Communication Skills	2 2 2 2	2 2 2 2	
	異文化理解	国際文化入門 アジア文化論 アメリカ文化論 イギリス文化論 グローバル社会におけるメディア 国際ボランティア・国際平和論	2 2 2 2	2 2 2 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語教育Ⅰ（英語科指導法） 英語教育Ⅱ（英語科指導法）	2 2		
		計	24	24	
			32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目 にて開講 ※選択科目は いずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計	67単位以上
-----------------	-----	--------

経営情報学科

高等学校教諭一種免許状（情報）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目			
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
				必 修	選 択	
(イ) 教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	情報社会論 AIと経営情報学 ICT活用論 インターネットビジネス プレゼンテーション演習	2 2 2	2 2	
		コンピュータ・情報処理	情報科学概論Ⅰ 情報科学概論Ⅱ	2 2		
		情報システム	経営情報システム論 会計情報論 生産システム論 流通システム	2	2 2 2	
		情報通信ネットワーク	ネットワーク基礎 コンピュータネットワーク論Ⅰ コンピュータネットワーク論Ⅱ クラウドネットワーキング	2 2	2 2	メディア 情報学科 で開設
		マルチメディア表現・マルチメディア技術	マルチメディア論 コンピュータシミュレーション 画像処理概論 映像音響処理及び音響技術	2 2	2 2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科指導法Ⅰ	2			
		情報科指導法Ⅱ	2			
			計	24	18	
				32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目 にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は いずれかを 選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計	67単位以上
-----------------	-----	--------

経営情報学科

高等学校教諭一種免許状（商業）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必 修	選 択	
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	商業の関係科目	経営学総論Ⅰ	2		
		経営学総論Ⅱ	2		
		簿記論Ⅰ	2		
		簿記論Ⅱ	2		
		経営史		2	
		経営者論		2	
		租税法		2	
		マーケティング論Ⅰ	2		
		マーケティング論Ⅱ		2	
		人事労務管理論		2	
		地域産業論		2	
		経営統計学		2	
		財務諸表論Ⅰ	2		
		財務諸表論Ⅱ		2	
		原価計算論Ⅰ	2		
		商学総論	2		
		流通論	2		
		財政学		2	
		会社法		2	
		ビジネス実務総論		2	
	職業指導	職業指導	2		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	商業科指導法Ⅰ	2		
		商業科指導法Ⅱ	2		
計			24	22	
			32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目はいずれかを選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8以上		

(ア) + (イ) + (ウ) 合 計 67単位以上

メディア情報学科

高等学校教諭一種免許状（情報）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	情報科学概論Ⅰ ICT活用論	2 2		
	コンピュータ・情報処理	情報科学概論Ⅱ ソフトウェア基礎論Ⅰ ソフトウェア基礎論Ⅱ 情報処理入門 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2	2 2	
	情報システム	経営情報システム論 プログラミング基礎 プログラミング応用 情報システムプロジェクト演習	2 2	2 4	
	情報通信ネットワーク	ネットワーク基礎 コンピュータネットワーク論Ⅰ コンピュータネットワーク論Ⅱ クラウドネットワーキング	2 2 2	2	
	マルチメディア表現・マルチメディア技術	マルチメディア論 コンピュータシミュレーション 画像処理概論 CGアニメーション 映像プロダクション演習 映像音響処理及び音響技術 メディアデザインプロジェクト演習	2 2 2	2 2 2 4	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科指導法Ⅰ 情報科指導法Ⅱ	2 2		
		計	30	22	
			32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講 ※選択科目はいずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
		パソコン基礎演習		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計	67単位以上
-----------------	-----	--------

メディア情報学科

高等学校教諭一種免許状（商業）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	3 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	2 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	3 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	3 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目			
科目 区分		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
				必 修	選 択	
(イ)	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	商業の関係科目	マーケティング論Ⅰ	2		
			マーケティング論Ⅱ		2	
			ウェブデザイン実務演習		2	
			ウェブサイト作成管理演習		2	
			経営学総論Ⅰ	2		
			経営学総論Ⅱ		2	
			会社法		2	
			国際経営論		2	
			簿記論Ⅰ	2		
			簿記論Ⅱ		2	
経営統計学				2		
データサイエンス基礎				2		
データベース論				2		
ウェブデザイン基礎演習			2			
アルゴリズムとデータ構造				2		
e ビジネスプロジェクト演習				4		
ビジネス実務総論			2			
ビジネス基礎演習			2			
ビジネス実践			2			
ビジネス実務演習		2				
	職業指導	職業指導	2			
	教科及び教科の指導法に関する科目 における複数の事項を合わせた 内容に係る科目					
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	商業科指導法Ⅰ	2			
商業科指導法Ⅱ		2				
			計	18	30	
				32以上		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	※選択科目はいずれかを選択必修
		情報リテラシー		2	
				パソコン基礎演習	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計	67単位以上
-----------------	-----	--------

健康栄養学科

栄養教諭一種免許状

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	1 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	2 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	3 年前期	
	び道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳教育	2	3 年前期	
			総合的な学習の時間	2	3 年後期	
			特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	2 年後期	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	2 年前期	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	2 年後期	
	関教育実践に関する科目	栄養教育実習	栄養教育実習Ⅰ	1	4 年前期	
			栄養教育実習Ⅱ	1	4 年後期	事前及び事後の指導
		教職実践演習	教職実践演習（栄養教諭）	2	4 年後期	
			計	28		

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必 修	選 択	
(イ) 関する科目 栄養に係る教育に	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養教育Ⅰ（基礎）	2		
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項	学校栄養教育Ⅱ（応用）	2		
	食生活に関する歴史的及び文化的事項				
	食に関する指導の方法に関する事項				
		計	4		

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目 にて開講 ※選択科目は いずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計 40単位以上
-----------------	------------

児童学科

幼稚園教諭一種免許状

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目				
科 目	各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		開講期	備 考
			必修	選択		
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2		1 年前期	
		児童教育学		2	3 年後期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2		1 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2		4 年前期	
		人権教育論		2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2		2 年後期	
		発達心理学		2	3 年前期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2		2 年前期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2		2 年後期	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2		3 年前期	
		幼児理解の理論及び方法	1		3 年後期	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	1		3 年後期	
		教育相談Ⅱ	1		3 年後期	
	教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	2		3 年後期	
		教育実習Ⅱ	2		4 年前期	
		教育実習指導（幼）	2		3 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	2		4 年後期	
	計		25	6		

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必 修	選 択	
(イ) 領域及び保育内容の指導法に関する科目	健康	子どもと健康		1	
	人間関係	子どもと人間関係		1	
	環境	子どもと環境		1	
	言葉	子どもと言葉	1		
	表現	子どもと表現		1	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（環境） 保育内容（言葉） 保育内容（表現）Ⅰ 保育内容（表現）Ⅱ 保育内容総合	2 2 2 2 2 2 2		
		計	15	4	
			16以上		

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対応科目		
	授 業 科 目	単 位 数	
		必修	選択
(ウ) 大学が独自に設定する科目	音楽（声楽）		2
	音楽（器楽）		2
	音楽（弾き歌い）		2
	音楽教育		2
	図画工作		2

※最低修得単位数（ア）＋（イ）＋（ウ）計51単位のうち、（イ）については16単位以上修得し、不足する10単位分については（ア）～（ウ）の選択科目を修得すること。

(エ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講 ※選択科目は いずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門 情報リテラシー		2 2	
計	8	計	6	4	
			8以上		

(ア) ＋ (イ) ＋ (ウ) ＋ (エ)	合 計	59単位以上
-----------------------	-----	--------

児童学科

小学校教諭一種免許状

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目				
科 目		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位数		開講期	備 考
				必修	選択		
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		1 年前期	
			児童教育学		2	3 年後期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2		1 年後期	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2		4 年前期
		人権教育論			2	4 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と教育の心理学	2		2 年後期	
			教育心理学		2	2 年前期	
			発達心理学		2	3 年前期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2		2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論Ⅰ	1		3 年後期	
			教育課程論Ⅱ	1		3 年後期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び道德、総合的な学習の時間等に関する科目	道德の理論及び指導法	道德教育	2		2 年前期	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2		3 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2		3 年後期	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用を含む。）	2		2 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。）Ⅰ	1		3 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
			生徒指導論（進路指導を含む。）Ⅱ	1		3 年前期	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談Ⅰ	1		3 年後期	
			教育相談Ⅱ	1		3 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	2		3 年後期	
			教育実習Ⅱ	2		4 年前期	
			教育実習指導（小）	1		3 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動					
		教職実践演習	教職実践演習（小）	2		4 年後期	
				計	31	8	

教職免許

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必 修	選 択	
(イ) 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国 語（書写を含む。）		2	選択科目の中から10単位以上選択必修
		社 会		2	
		算 数		2	
		理 科		2	
		生 活		2	
		音 楽		2 2 2 2	
		図画工作		2 2	
		家 庭		2 2	
		体 育		2	
		外国語		2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	計			30	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国 語（書写を含む。）	2	2	
		社 会	2	2	
		算 数	2	2	
		理 科	2	2	
		生 活	2		
		音 楽	2	2	
		図画工作	2	2	
		家 庭	2		
		体 育	2	2	
		外国語	2		
	計		20	14	

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対応科目			開講期
	授 業 科 目	単 位 数		
		必修	選択	
(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期

(エ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講 ※選択科目はいずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門 情報リテラシー		2 2	
計	8	計	6 8以上	4	

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ)	合 計 71単位以上
-----------------------	------------

看護学科

高等学校教諭一種免許状（看護）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	1 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	2 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	2 年前期	
	生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	2 年後期	
		特別活動の指導法	特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	2 年後期	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	2 年前期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	2 年後期	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4 年前期	
			教育実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	4 年後期	
			計	27		

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学対応科目			
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
(イ)教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」	身体の構造と機能Ⅰ	2		
			身体の構造と機能Ⅱ	2		
			生化学	2		
			微生物学	2		
			薬理学	2		
	看護学 (成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。)	看護学概論	1			
		ヘルスアセスメント	1			
		看護理論演習	1			
		成人看護学概論	1			
		老年看護学概論	1			
		成人保健論	1			
		老年保健論	1			
母性看護学概論		1				
小児看護学概論		1				
母性保健論		1				
在宅看護概論	2					
看護倫理	1					
看護実習	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	3				
	小児看護学実習	2				
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		看護科指導法Ⅰ	2			
		看護科指導法Ⅱ	2			
			計	32		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目（必修）である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目にて開講
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目はいずれかを選択必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ)	合 計 67単位以上
-----------------	------------

看護学科

養護教諭一種免許状

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学必修科目				
科 目		授 業 科 目	単 位 数	開講期	備 考	
(ア) 教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2 年前期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職基礎	2	1 年後期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	2 年前期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2 年後期	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2 年後期	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	2 年前期	
	道德、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道德、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道德教育	2	3 年前期	
			総合的な学習の時間	2	2 年後期	
			特別活動	2	2 年後期	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	2 年後期	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。)	2	2 年前期	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	2 年後期	
	教育実践に関する科目	養護実習	養護実習Ⅰ	2	4 年前期	
			養護実習Ⅱ	2	4 年前期	
			養護実習Ⅲ	1	4 年前期	事前及び事後の指導
		学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）	2	4 年後期	
			計	31		

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学対応科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
(イ) 養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	公衆衛生学 保健統計学 疫学Ⅰ	1 2 1		予防医学を含む
	学校保健	学校保健Ⅰ (総論) 学校保健Ⅱ (方法論)	1 1		
	養護概説	養護概説Ⅰ (総論) 養護概説Ⅱ (方法論)	1 1		
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	健康相談活動論Ⅰ (総論) 健康相談活動論Ⅱ (方法論)	1 1		
	栄養学 (食品学を含む。)	栄養学	2		
	解剖学・生理学	身体の構造と機能Ⅰ 身体の構造と機能Ⅱ	2 2		
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	微生物学 薬理学	2 2		
	精神保健	小児保健論 精神保健論	1 1		
	看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	看護学概論 生活行動援助方法Ⅰ 生活行動援助方法Ⅱ 成人看護学概論 母性看護学概論 小児看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ (看護の対象・環境) 小児看護学実習	1 2 1 1 1 1 1 2		救急処置 臨床実習 臨床実習
		計	32		

※下線がついている科目は、一般的包括的な内容を含む科目 (必修) である。

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目 にて開講 ※選択科目は いずれかを 選択必修
体育	2	健康スポーツ	2		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	2	AI・データサイエンス入門		2	
		情報リテラシー		2	
計	8	計	6	4	
			8 以上		

(ア) + (イ) + (ウ) 合 計 71単位以上